

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人プラナの森 ひだまりの庭		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 29名
○従業員評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安全で安心して過ごせる環境づくりに努めている。パーティションや柵を活用し構造化することで、子どもたちが落ち着いて活動できる空間を整備している。	子どもたちが伸び伸びと活動に参加出来るよう、グループ分けやメンバーの調整を行い対応している。また、子どもたち一人ひとりの状況に合わせた対応出来るよう全職員共通理解の下、環境設定を行っている。	引き続きグループ分けや活動に合わせた調整を行いながら、子どもたちが安全に過ごせる環境を整えていく。職員ミーティングで全職員共通理解の下、子どもたち一人ひとりに合わせた対応が出来るよう努めていく。
2	うどんメニューやボードゲーム等、小集団活動を充実させ、他者との関わりを楽しめるよう活動内容の検討をしている。	法人内研修で発達研修を取り入れ、様々な視点から活動の展開へと繋げることが出来ている。また、お子さん一人ひとりに合わせた活動プログラムを担当職員が中心となり、日々検討している。	引き続き法人内外の研修に積極的に参加し、様々な視点から活動の検討が出来るよう努める。また、職員ミーティングの中で担当職員が中心となり、活動内容の検討を行っていく。
3	保護者さん同士の関わりが持てる行事等を積極的に取り入れている。	定期的な保護者会の開催に加え、同法人事業所との合同保護者会を行い、保護者さん同士のネットワークを大切に支援をしている。	引き続き、保護者さん同士の繋がりを大切に支援を行っていく。保護者会だけでなく、ご意見があった兄弟も含めたイベント等の検討も行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	急な階段での危険性や、活動スペース等で不安に思う保護者さんがいる。	急な階段や活動スペースの狭さ等、バリアフリーに特化されていない部分もある。	安全に過ごせる空間づくりを日々検討する。また、お帰りの対応を室内にすることにより、安全に子どもたちを引き渡せるようにする。
2	他事業所や児童クラブ等、地域との交流が十分に取れていない。	今年度、他事業所交流を行うことが出来なかった。	来年度、他事業所との交流会を予定している。積極的に地域との交流等を検討していく。
3	避難訓練や情報の公表などについて、十分に周知が出来ていない。	玄関に掲載したり、メールを活用し発信してきたものの、十分ではなかった。	今後もメールを活用しながら、情報の提供をしていくと共にインスタグラムでの情報発信を進め、子どもたちの様子がより身近に感じられるよう対応していく。